

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公表番号】特表 2006-519938 (P2006-519938A)
 【公表日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-034
 【出願番号】特願 2006-507923 (P2006-507923)
 【国際特許分類】

A 4 1 B 9/02 (2006.01)

A 4 1 B 9/04 (2006.01)

A 4 1 B 9/12 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 9/02 K

A 4 1 B 9/02 M

A 4 1 B 9/04 B

A 4 1 B 9/04 E

A 4 1 B 9/02 Q

A 4 1 B 9/04 F

A 4 1 B 9/12 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 21 日 (2006.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長さ方向及び横方向を有するパンツ形状衣料であって、前記パンツ形状衣料が、使用中使用者の尻上に配置されることを意図される後部分、使用中使用者の腹上に配置されることを意図される前部分、使用中使用者の股に配置されることを意図される股部分、横方向に延びる腰縁を有する腰開口、及び一般に前部分上に位置される脚縁の前部及び一般に後部分上に位置される脚縁の後部を少なくとも有する脚縁によって各々画成される二つの脚開口を含み、後部分及び前部分が腰開口から各脚開口まで長さ方向に走る二つの側部接合部で相互に接続されるパンツ形状衣料であって、衣料の前部分及び後部分が弾性的に伸張可能な材料から各々なること、及び各脚縁の後部が湾曲形状であり、主に後部分上に位置される凸状の湾曲区域を有することを特徴とする衣料。

【請求項 2】

前部分上に位置される脚縁の前部が凹状湾曲形状を有することを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 3】

脚縁の後部が S 形状曲線を有することを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 4】

股部分が実質的に非弾性の材料からなり、それが前接合部において前部分に、そして後接合部において後部分に接合され、両接合部が横方向に配置されることを特徴とする請求項 2 に記載の衣料。

【請求項 5】

股部分における非弾性材料と後部分における弾性材料の間の接合部が凸状の曲率が最大

となる脚縁の後部上の点と同じ高さで又はその前に位置されることを特徴とする請求項 4 に記載の衣料。

【請求項 6】

股部分における非弾性材料と前部分における弾性材料の間の接合部が腰縁から最も遠くに位置される脚縁の前部上の点と同じ高さ位置されることを特徴とする請求項 4 に記載の衣料。

【請求項 7】

前部分及び後部分が二つの不織層及びそれらの不織層の間に配置された弾性有孔プラスチックフィルムを含む弾性積層体からなることを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 8】

衣料が吸収パッケージをさらに含み、吸収パッケージが液体透過性内部層と液体不透性バリアー層の間に包囲された吸収芯を含み、かつ少なくとも股部分において配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 9】

弾性要素が脚縁の後部に沿って配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 10】

各脚縁が股部分に位置された股部を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 11】

股部分が前接合部において前部分に、そして後接合部において後部分に接合され、両接合部が横方向に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の衣料。

【請求項 12】

股部分が非延伸性であり、股部分と後部分における弾性材料の間の接合部が凸状の曲率が最大となる脚縁の後部上の点と同じ高さで又はその前に位置されるべきであることを特徴とする請求項 11 に記載の衣料。

【請求項 13】

長さ方向及び横方向を有するパンツ形状衣料であって、前記パンツ形状衣料が、使用中使用者の尻上に配置されることを意図される後部分、使用中使用者の腹上に配置されることを意図される前部分、使用中使用者の股に配置されることを意図される非弾性の股部分、横方向に延びる腰縁を有する腰開口、及び一般に前部分上に位置される脚縁の前部及び一般に後部分及び股部分上に位置される脚縁の後部を少なくとも有する脚縁によって各々画成される二つの脚開口を含み、後部分及び前部分が腰開口から各脚開口まで長さ方向に走る二つの側部接合部で相互に接続されるパンツ形状衣料であって、衣料の前部分及び後部分が実質的に弾性的に伸張可能な材料から各々なること、及び各脚縁の後部が湾曲形状であり、主に後部分上に位置される凸状の湾曲区域を有することを特徴とする衣料。

【請求項 14】

前部分上に位置される脚縁の前部が凹状湾曲形状を有することを特徴とする請求項 13 に記載の衣料。

【請求項 15】

脚縁の後部が S 形状曲線を有することを特徴とする請求項 13 に記載の衣料。

【請求項 16】

股部分が前接合部において前部分に、そして後接合部において後部分に接合され、両接合部が横方向に配置されることを特徴とする請求項 14 に記載の衣料。

【請求項 17】

股部分における非弾性材料と後部分における弾性材料の間の接合部が凸状の曲率が最大となる脚縁の後部上の点と同じ高さで又はその前に位置されることを特徴とする請求項 16 に記載の衣料。

【請求項 18】

前部分及び後部分が二つの不織層及びそれらの不織層の間に配置された弾性有孔プラスチックフィルムを含む弾性積層体からなることを特徴とする請求項 13 に記載の衣料。

【請求項 19】

衣料が吸収パッケージをさらに含み、吸収パッケージが液体透過性内部層と液体不透過性バリアー層の間に包囲された吸収芯を含み、かつ少なくとも股部分において配置されることを特徴とする請求項 13 に記載の衣料。

【請求項 20】

股部分が前接合部において前部分に、そして後接合部において後部分に接合され、両接合部が横方向に配置されることを特徴とする請求項 13 に記載の衣料。

【請求項 21】

股部分が非延伸性であり、股部分と後部分における弾性材料の間の接合部が凸状の曲率が最大となる脚縁の後部上の点と同じ高さで又はその前に位置されるべきであることを特徴とする請求項 20 に記載の衣料。